

令和 5 年度 白沢小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

(1) 基本目標

広い視野を持ち，心身共に健康で，創造性と実践力に富む，心豊かな児童の育成

(2) 具体目標

「時代を拓く日本人を育てる」

- ・よく学び考える子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

創立 150 年の歴史や伝統，豊かな自然や文化に培われてきた本校で学ぶすべての児童に対し，全教職員がその力を結集し，教育目標の達成を目指す。そのために，すべての教職員の和と信頼を以て，児童・保護者・地域住民等と協和し，地域の教育資源を活用しながら，創意と工夫・活力に満ちた教育活動を展開する。

目指す学校像： 学び合い 喜び合い はげまし合う 白沢小

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 楽しく居がいのある学校づくり
- (2) 生きる力を育む教育実践
- (3) 社会性の育成
- (4) 郷土への愛情を育む教育実践（地域とともにある学校づくり）
- (5) 自己研鑽と経営組織の活性化
- (6) 働き方を意識した校内業務の適正化

〔古里地域学校園教育ビジョン〕

夢や目標をもち，その実現に向けて，自ら鍛え，思いやる心を磨きながら，生きる力を身に付ける児童生徒の育成

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法，教育基本法，学校教育法及び学校教育法施行規則並びに小学校学習指導要領，栃木県教育委員会施策，宇都宮市教育委員会の基本方針や努力点の示すところに従い，本校教育課程を編成する。
- (2) 令和 5 年度の本校の教育目標の実現を目指して，各教科で育む資質・能力や目標・内容を明確化するとともに，地域や学校の実態及び児童の心身の発達段階と特性を十分に考慮し，特色ある教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

(1) 学校運営

「児童も教職員もいきいきと活動する学校づくり」

○児童の主体性及び自己肯定感を育てるために，全教育活動を通して「児童が目標をもって，主体的に取り組むことのできる活動」を意図的に設定する。

- ・郷土への愛情や誇りを持たせるとともに，学習活動の充実と学習内容の定着を目指して，地域の教育資源（人材・施設・組織）や行政・企業を活用した体験的な学習活動を充実させる。
- ・教職員一人一人が主体となって，創意工夫された各種教育活動を展開するとともに，効果を維持した上で校務の効率化を推進する。

(2) 学習指導

- ・一人一人が主体的に取り組む，いきいきと学び合う児童の育成
～ 基礎・基本の定着を図り，表現力を高める言語活動の工夫 ～

(3) 児童生徒指導

- ・ 一人一人が自信をもち、共に支え合いながら、生き生きと活動する児童の育成

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ・ 生涯を通して運動に親しもうとする態度を育成し、体力や健康に関する知識や技能を身に付け、自他の生命を尊重しながら、安全な生活を営む児童の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価 ※は、令和4年度から変更あり。															
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は、学習課題を解決するために、友達と話し合ったり、必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、進んで学習に取り組んでいる」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 授業の中に、学びあいの活動を取り入れ、課題を児童同士で解決するような授業展開を心がけていく。 ② 1人1台端末を活用し情報を集めたり、友達の発表内容を言い換えたり、授業のまとめを児童自身の言葉で書いたりする機会を設ける。 ③ 「話し方の例」や「声のものさし」を掲示し、基本的な学習態度・技能の育成に努める。 ④ 「 <u>白沢小学習の約束</u> 」や古里学校園で作成した「 <u>家庭学習のすすめ</u> 」を配布し、 <u>家庭と連携して学習習慣の形成に努める。</u>	B	【達成状況】A1 (○) <table><tr><th>A1</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>児童</td><td>※</td><td>88.6%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>※</td><td>95.7%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>※</td><td>88.1%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・ 児童の肯定的回答が88.6%で数値指標を達成している。 ・ 学びあいの活動を取り入れるなど、授業展開を工夫したところ、落ち着いた学習に取り組む児童が増えた。 【次年度の方針】 ・ ①～④の指導を継続して取り組んでいく。 ・ 基礎基本の定着を図れるように、家庭学習や朝の学習など習熟を図る時間を設ける。 ・ 子供の考えを生かしてまとめたり、子供の交流を通じて思考を広げたりする授業を展開する。 ・ 図書室やタブレットを有効活用し、必要な情報を集める時間を設定する。 ・ 学年だよりや保護者会の際に、家庭学習の大切さを伝え、家庭と連携を図る。	A1	R4	R5	児童	※	88.6%	教職員	※	95.7%	保護者	※	88.1%	地域住民		
A1	R4	R5																	
児童	※	88.6%																	
教職員	※	95.7%																	
保護者	※	88.1%																	
地域住民																			
1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 道徳において、相手の気持ちを考えたり、その時の自分の行動を考えたりする授業を実践していく。 ② 他の児童が行った、思いやりの行動を「ありがとうのふわふわ雲」に掲示することで、児童同士が互いのよさを認め合えるようにする。 ③ 異学年の交流活動等を計画的に設定し、児童の思いやりの心を育てる。 ・ 「なかよしタイム」や昼休みの活動1年生となかよく遊ぼう集会、(古里地域学校園、児童会による)あいさつ運動、運動会スローガン、歳末助け合い、感謝の会、6年生を送る会	B	【達成状況】A2 (○) <table><tr><th>A2</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>児童</td><td>※</td><td>92.6%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>※</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>93.0%</td><td>94.5%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>※</td><td>100.0%</td></tr></table> ・ 児童の肯定的回答が92.6%で数値指標を達成している。 ・ ③については、異学年交流を多くできたので、上級生が下級生に対して優しく接し、児童に思いやりの心が育っている。 【次年度の方針】 ・ ①②③について継続して取り組んでいく。 ・ 思いやる心を育成するため、互いのよさを伝え合う活動を積極的に取り入れる。 ・ 引き続き、異学年の交流活動を通して、思いやりの心を育てていく。	A2	R4	R5	児童	※	92.6%	教職員	※	100.0%	保護者	93.0%	94.5%	地域住民	※	100.0%
A2	R4	R5																	
児童	※	92.6%																	
教職員	※	100.0%																	
保護者	93.0%	94.5%																	
地域住民	※	100.0%																	

	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 繰り返し学習したり、少し難しい学習に挑戦したりする場を意図的に作り、児童の意欲の向上や達成感に繋げるようにする。 ② グループやクラス・学年で目標をもち、自分たちの力で最後まで取り組める機会を意図的につくるとともに、その取組の様子を学年だより等で保護者に伝える。 ③ 児童相互に認め合う場を数多く設けるとともに、担任も認め励ます指導に努める。 ④ キャリアパスポートや各種振り返りカードを活用して、活動の振り返りを行い、達成感を味わえるようにする。	【達成状況】A3 (×) <table><tr><td>A 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td></tr><tr><td>児童</td><td>92.7%</td><td>87.3%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>87.0%</td><td>82.6%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>76.6%</td><td>84.9%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> A ・児童の肯定的回答が87.3%で数値指標を達成していない。 ・ホームページや学年だより等で児童の取組の様子を積極的に伝えることができた。 ・係活動や学校行事では、各クラスや学年で振り返りを行うことができた。 【次年度の方針】 ・①～④を継続していく。 ・スモールステップで無理のない目標をもたせる。 ・これからも、学級活動や帰りの会で互いに認め合う場を設定し、多くの児童を称賛していく。 ・長なわ大会のように、クラスで目標を決めて取り組む機会や場を意図的に取り入れる。	A 3	R 4	R 5	児童	92.7%	87.3%	教職員	87.0%	82.6%	保護者	76.6%	84.9%	地域住民		
A 3	R 4	R 5																
児童	92.7%	87.3%																
教職員	87.0%	82.6%																
保護者	76.6%	84.9%																
地域住民																		
1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケート「私は、健康や安全に気を付けて生活している」⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施して、体験活動を通した安全教育を推進する。 ② 健康について児童が実感を伴って理解できるように体力チェックや生活アンケートを活用し、保健学習や学級活動における項目内容を充実させる。 ③ <u>地域や保護者と連携して感染症対策の徹底を図るとともに、その他の安全教育も委員会活動とタイアップしながら、児童主体の活動として継続する。保健委員会では安全面、体育委員会では怪我の予防等、児童が健康・安全を意識できるような取組を充実させる。</u>	【達成状況】A4 (○) <table><tr><td>A 4</td><td>R 4</td><td>R 5</td></tr><tr><td>児童</td><td>※</td><td>95.6%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.7%</td><td>95.7%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>90.3%</td><td>92.3%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>※</td><td>100.0%</td></tr></table> B ・児童の肯定的回答が95.6%で数値指標を達成している。 ・③については、給食時の放送や呼びかけを行ったことで、児童の健康安全に対する意識が高まった。 【次年度の方針】 ・今年度の取組は、効果が上がっているため、次年度も継続していく。 ・学校での安全に関するルールについて徹底が図れるように継続して指導していく。	A 4	R 4	R 5	児童	※	95.6%	教職員	95.7%	95.7%	保護者	90.3%	92.3%	地域住民	※	100.0%
A 4	R 4	R 5																
児童	※	95.6%																
教職員	95.7%	95.7%																
保護者	90.3%	92.3%																
地域住民	※	100.0%																

1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、自分の良さや考えを生かしたり、周りと協力し合ったりして、進んで生活をよりよくしようとしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 学級活動や児童会活動、縦割り班活動（児童会・清掃・給食）等において、自分で考え、周りと協力し合える活動を意図的・計画的に取り入れる。 ② 児童一人一人が集団の一員としての自覚や責任をもち、互いに協力することのよさや自分のよさについて感じるができるよう、活動内容を工夫する。 ③ 係活動や学級活動、委員会活動や縦割り班活動等において、一人一人に役割をもたせ、係で企画したことを仲間と協力しながら最後まで取り組む経験を児童全員にさせるとともに、活躍できる場を確保する。 ④ 児童が目標をもって努力し、一定期間で振り返り、自己の成長に気付けるようにする。	B	【達成状況】A5 (○)	<table><tr><td>A 5</td><td>R 4</td><td>R 5</td></tr><tr><td>児童</td><td>※</td><td>90.0%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>※</td><td>95.7%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的回答が90.0%で数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・①～④を継続していく。 ・引き続き、係活動や学級活動、委員会活動や縦割り班活動等において、一人一人に役割をもたせるとともに、振り返る場を確保し、自己の成長に気付かせる。	A 5	R 4	R 5	児童	※	90.0%	教職員	※	95.7%	保護者			地域住民		
	A 5	R 4		R 5																
	児童	※		90.0%																
教職員	※	95.7%																		
保護者																				
地域住民																				
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒児童の肯定的回答 85%以上	① 授業において、担当する教員が自ら積極的に英語を使う授業を展開するとともに、ALTを積極的に活用し、英語によるやり取りを行う活動を設定する。 ② ALTによるお昼の校内放送や休み時間の交流を行い、児童が英語に触れる機会を設ける。 ③ 外国語担当教員を中心に子どもたちの多様な活動の中で外国語が目につけるよう、校内掲示を充実させる。	A	【達成状況】A6 (×)	<table><tr><td>A 6</td><td>R 4</td><td>R 5</td></tr><tr><td>児童</td><td>※</td><td>84.7%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.7%</td><td>91.3%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的回答が84.7%で数値指標を達成していない。 【次年度の方針】 ・①～③を継続していく。 ・全児童が英語を口にする機会をつくとともに、積極的なコミュニケーションを称賛していく。 ・特に②の取組は、効果的なので、児童が英語に触れる機会を設けていく。 ・これからも、指導法の工夫や改善などを行い、授業力の向上を図る。	A 6	R 4	R 5	児童	※	84.7%	教職員	95.7%	91.3%	保護者			地域住民		
A 6	R 4	R 5																		
児童	※	84.7%																		
教職員	95.7%	91.3%																		
保護者																				
地域住民																				
	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、宇都宮の良さを知っている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 宇都宮学に関するテキストを積極的に活用するとともに、市内や地域での校外学習等の機会を生かして、宇都宮の良さに触れられるようにする。 ② お昼の放送を活用し、身近な自然や文化について学ぶ機会をつくる。 ③ 学校便りやホームページ等で、保護者や地域に、学校での取組について積極的に情報発信する。	B	【達成状況】A7 (○)	<table><tr><td>A 7</td><td>R 4</td><td>R 5</td></tr><tr><td>児童</td><td>87.2%</td><td>85.2%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>82.6%</td><td>95.7%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>66.2%</td><td>67.5%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的回答が85.2%で数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・引き続き①～③に取り組む。 ・道徳・学活・総合的な学習の時間・生活科・委員会活動・児童会などと連携して取り組む。 ・保護者の肯定的回答が67.5%とまだ低いため、継続して学校便りやホームページ等で、保護者や地域に積極的に情報発信する。 ・地域への校外学習や各教科での学習を通して、児童の宇都宮への関心を高める。	A 7	R 4	R 5	児童	87.2%	85.2%	教職員	82.6%	95.7%	保護者	66.2%	67.5%	地域住民		
A 7	R 4	R 5																		
児童	87.2%	85.2%																		
教職員	82.6%	95.7%																		
保護者	66.2%	67.5%																		
地域住民																				

2ー(2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、パ ソコンや図書等を学習に活用 している」 ⇒児童の肯定的回答 85%以 上	① 一人一台端末を多様な場面で積 極的に活用した授業を日常的に展 開し、主体的・対話的で深い学びの 実現に取り組む。 ② 一人一人の習熟の程度に応じた 学習に取り組む等、個に応じた I C T 機器の活用について、学校便りや ホームページ等で保護者や地域の 方々に周知する。 ③ 市図書館等の貸出を利用し、必要 な図書資料を豊富に準備し、調べ学 習等に活用する。 ④ 読書の時間や読み聞かせの時間、 図書だよりの発行などを通して児 童の読書意欲を喚起する。	B	【達成状況】A8 (○)	<table><tr><td>A 8</td><td>R 4</td><td>R 5</td></tr><tr><td>児童</td><td>※</td><td>86.5%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>95.7%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>86.4%</td><td>88.5%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的回答が 86.5%で数値指 標を達成している。 ・G I G Aスクール構想の実現のた め、Google meet、スクールタクト等 を活用した研究を推進し、一人一台 端末を活用した主体的・対話的で深 い学びの実現に取り組んだ。 【次年度の方針】 ・①～④を継続していく。 ・調べ学習の際、さらに図書資料を活用 できるようにしていく。 ・端末を活用した課題（スマイルネク スドリルやタイピング等）を定期的に出 すことで、家庭でも端末を活用する機 会を増やす。	A 8	R 4	R 5	児童	※	86.5%	教職員	100.0%	95.7%	保護者	86.4%	88.5%	地域住民		
A 8	R 4	R 5																		
児童	※	86.5%																		
教職員	100.0%	95.7%																		
保護者	86.4%	88.5%																		
地域住民																				
2ー(3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社 会」について、関心をも っている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、水 や電気を大切にしたり、植物 や動物を大切にしたりしてい る。」「私は、「持続可能な社会」 について、関心を持っている」 ⇒児童の肯定的回答 80%以 上	① 生活科・総合的な学習・理科・ 社会等において、地域の自然・文 化・環境等を課題とした学習を充 実させるとともに、各教科で学習 した取組について実践できる機会 を意図的・計画的につくる。 ② 企業の出前講座や委員会活動等、 さまざま機会をとらえ、SDGs の取 組と関連付け、環境問題や防災等 について考える機会を増やしていく。	B	【達成状況】A9 (○)	<table><tr><td>A 9</td><td>R 4</td><td>R 5</td></tr><tr><td>児童</td><td>※</td><td>91.3%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>78.3%</td><td>82.6%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的回答が 91.3%で数値指 標を達成している。 ・環境問題について、授業で取り上げ たり、委員会活動において、牛乳パ ックのリサイクルを実体験させるこ とで関心を高めることができた。 【次年度の方針】 ・引き続き①②に取り組む。 ・道徳・学活・総合的な学習の時間・ 生活科・委員会活動・児童会などと 連携して取り組む。 ・SDGs の本を紹介し、児童の興味・関 心を高める。 ・今後も、児童の発達段階に応じた授業 づくりを行い、持続可能な社会づくり の実現に向けて、児童の見方・考え方 を育てていく。	A 9	R 4	R 5	児童	※	91.3%	教職員	78.3%	82.6%	保護者			地域住民		
A 9	R 4	R 5																		
児童	※	91.3%																		
教職員	78.3%	82.6%																		
保護者																				
地域住民																				

3ー(1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進	A10 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 校内支援委員会等により組織的な対応に努め、一人一人のニーズを踏まえ、児童に必要な支援について定期的に検討する。 ② 特別な支援が必要な児童生徒に対して、個別の支援計画を作成・活用して、学校全体として指導に当たる。 ③ 毎月、特別な支援が必要な児童の情報交換を定期的に行い、共通理解を図り学校全体で対応をしていく。 ④ SCや外部機関と連携し合って、個に応じたよりよい支援の在り方について考え指導に生かしていく。	B 【達成状況】A10 (○) <table><tr><th>A10</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>※</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・教職員の肯定的回答が100.0%で数値指標を達成している。 ・校内支援委員会を通して、児童に必要な支援について定期的に検討をする機会を設けることで、学校全体で共通理解を図り、適切な支援をすることができた。 【次年度の方針】 ・今年度の取組は、効果があるため、①～④を次年度も継続していく。 ・校内教育支援委員会の計画的な実施、かがやきルーム支援員との日常的な情報交換、SCや外部機関との連携等を行い、特別な支援を必要とする児童への支援を継続していく。	A10	R4	R5	児童			教職員	※	100.0%	保護者			地域住民		
A10	R4	R5																
児童																		
教職員	※	100.0%																
保護者																		
地域住民																		
3ー(2) いじめ・不登校対策の充実	A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 全体アンケート「学校は、いじめ対策に熱心に取り組んでいる」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① いじめゼロ集会やいじめアンケート、標語の募集などにより、児童の意識化を図り、全教職員が「いじめはどの児童にも、あらゆる場面で起こりうる」、「いじめは許されない行為である」という共通認識のもと、日常的に指導していく。 ② なかよしタイムや昼休み等、教員による巡視を実施し、いじめにつながるトラブル等の未然防止に努めるとともに、日常会話や教育相談週間等を通して、日頃から児童との信頼関係を築いていく。 ③ 友達同士がお互いのよさに気付けるよう、グループでの活動を多く取り入れたり、教師が認め励ます言葉かけを心がけていく。 ④ いじめ防止に関する資料や学校での取組を、懇談会や学校便り、HPなどで地域や保護者に積極的に発信する。	B 【達成状況】A11 (○) <table><tr><th>A11</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>児童</td><td>97.0%</td><td>96.9%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>80.6%</td><td>83.7%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>※</td><td>100.0%</td></tr></table> ・児童の肯定的回答が96.9%、保護者の肯定的回答も83.7%で、ともに数値指標を達成している。 ・②について、教師が巡視をすることで未然防止に努めることができた。 ・いじめ防止対策について、保護者へ、各種便りやホームページなどで学校の取組を随時周知した。 【次年度の方針】 ・①～④を継続して取り組んでいく。 ・次年度も教育相談や人権週間、いじめゼロ集会やいじめアンケート、標語の募集など、児童自身がいじめについて考える活動を実施していく。 ・継続して教師間の情報交換を密に行う。	A11	R4	R5	児童	97.0%	96.9%	教職員	100.0%	100.0%	保護者	80.6%	83.7%	地域住民	※	100.0%
A11	R4	R5																
児童	97.0%	96.9%																
教職員	100.0%	100.0%																
保護者	80.6%	83.7%																
地域住民	※	100.0%																
	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 児童のよさを称賛したり、一人一人が活躍できる場を設定したりし、児童が自己有用感をもち、安心して生活できるようにする。 ② 担任だけでなく、学校組織として児童の状態を把握し、教育相談やQ-U等の結果を活用しながら支援策を検討し、児童への適切な支援に繋げる。 ③ 「できた」「分かった」が繰り返されるなど、授業が児童にとって楽しい時間となるよう努める。 ④ 職員会議後等に不登校対策やいじめ対策を兼ねて、児童指導について情報交換会を実施したり、不登校対策委員会を開いたりするなど、学校全体で対応していく。	B 【達成状況】A12 (○) <table><tr><th>A12</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>児童</td><td>98.3%</td><td>96.1%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>89.9%</td><td>86.8%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・児童の肯定的回答が96.1%で数値指標を達成している。 ・児童指導についての情報交換を随時・計画的・組織的にを行い、教職員は共通理解のもと、指導にあたってきた。 【次年度の方針】 ・今年度①～④とともに組織的に取り組んできたが、より一層教職員や関係機関と連携を深め、児童への適切な支援につなげる。	A12	R4	R5	児童	98.3%	96.1%	教職員	100.0%	100.0%	保護者	89.9%	86.8%	地域住民		
A12	R4	R5																
児童	98.3%	96.1%																
教職員	100.0%	100.0%																
保護者	89.9%	86.8%																
地域住民																		

3- (3) 外国人児童 生徒等への 適応支援の 充実	A13 学校は、一人一人が大 切にされ、活気があり、 明るくいいきとした雰 囲気である。 【数値指標】 全体アンケート「先生方は、 困ったときに相談に乗って くれたり、問題を解決しよう としたりして、私たちが楽し く学校生活を送れるように している」 ⇒児童の肯定的回答 90% 以上	① 各行事や児童会活動、 クラスで協力する活動（長 縄・ドッジボール大会・ロ ング昼休みを活用したクラ ス遊び等）を通して、主体 的に活動できるようにする。 ② 児童の心の安定や居が いいのある学校づくりのた め、日常の会話等を通して、 児童と教師の関わりをさら に深め、児童に寄り添い、 児童を肯定的に捉えていく。 ③ あいさつ運動を通して、 児童が主体的に他者との関 わる機会を設定することで 明るい雰囲気をつくる。	B	【達成状況】A13 (○)	<table><tr><td>A13</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>児童</td><td>※</td><td>95.2%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>※</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>※</td><td>84.5%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>※</td><td>100.0%</td></tr></table> - 児童の肯定的回答が95.2%で数値指標を達成している。 - 積極的に校庭に出る子が多く、なかよしタイムや昼休みに異学年を含めた子供たち同士の交流ができた。 ①について、縦割り班活動やクラスで協力する活動を通して、児童が前向きに生活できる雰囲気が高まった。 【次年度の方針】 ①～③を継続して取り組んでいく。 - 児童と触れ合ったり関わったりする時間を増やし、児童が安心してのびのびと生活できるようにしていく。 - 教職員と保護者との連携を密にし、信頼関係を築いていく。	A13	R4	R5	児童	※	95.2%	教職員	※	100.0%	保護者	※	84.5%	地域住民	※	100.0%
A13	R4	R5																		
児童	※	95.2%																		
教職員	※	100.0%																		
保護者	※	84.5%																		
地域住民	※	100.0%																		
3- (4) 多様な教育 的ニーズへの 対応の強化																				
4- (1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業 や児童にきめ細かな指導 を行い、学力向上を図って いる。 【数値指標】 全体アンケート「先生方の 授業は分かりやすく、一人 一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90% 以上	① 基礎力を養う朝の学習を計 画的に実施するとともに、 読解力や語彙力、文章力等 の向上を図る言語活動の 取組を教職員共通理解の もと実践し、学力向上につ なげていく。 ② タブレット端末やICT機 器を活用した授業実践や 授業研究を行い、指導方 法の工夫・改善や指導力 の向上に取り組む。 ③ 少人数習熟度別指導を生 かした指導方法の工夫（ 個別支援や学び合い活動 等実態に応じた指導）を 取り入れることにより、 学力の向上を図る。 ④ ノートやワークテスト、 プリントなどに励ましや アドバイス・コメントな どを入れる等、児童一人 一人の学習への意欲を高 める。	B	【達成状況】A14 (○)	<table><tr><td>A14</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>児童</td><td>97.9%</td><td>97.4%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>86.5%</td><td>78.3%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> - 児童の肯定的回答が97.4%で数値指標を達成している。 - 保護者の肯定的回答は8.2%低下し、78.3%であった。 【次年度の方針】 ①～④を引き続き取り組む。 - 分かる授業の実現のため、引き続き、児童の実態把握を十分に行い、児童一人一人に応じた、分かりやすい丁寧な指導を実践していくことで、学力向上を図る。 - タブレット端末やICT機器を活用した研修を通して、全職員の学習指導への意識を高める。 - ホームページや学年だよりで、学習の様子を配信する。	A14	R4	R5	児童	97.9%	97.4%	教職員	100.0%	100.0%	保護者	86.5%	78.3%	地域住民		
A14	R4	R5																		
児童	97.9%	97.4%																		
教職員	100.0%	100.0%																		
保護者	86.5%	78.3%																		
地域住民																				
4- (2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全 員がチームとなり、協力 して業務に取り組んでい る。 【数値指標】 全体アンケート「学校に関 わる教職員全員がチーム となり、協力して業務に 取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 85% 以上	① 学校図書館司書業務嘱託 員、学校栄養士、かがや きルーム指導員、ALT、 スクールカウンセラー等 と、打ち合わせや情報交 換の時間を確保する。 ② 学校に関わる教職員同 士、日常的な情報共有に 努め、コミュニケーション を図っていく。 ③ 困難を感じる業務につ いて気軽に相談し、助け 合える雰囲気を大切に し合う。	B	【達成状況】A15 (○)	<table><tr><td>A15</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.7%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> - 教職員の肯定的回答が100.0%で数値指標を達成している。 【次年度の方針】 - 指標を上回ったが、引き続き、教職員が協力して業務に取り組めるようにしていく。 ①～③を継続して取り組んでいく。 - 日常的な情報共有に努め、コミュニケーションを図っていく。	A15	R4	R5	児童			教職員	95.7%	100.0%	保護者			地域住民		
A15	R4	R5																		
児童																				
教職員	95.7%	100.0%																		
保護者																				
地域住民																				

4- (3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケート「私は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 80%以上	① 業務の効率化が図れる取組を積極的に取り入れ、時間内に業務が遂行されるよう、計画的・組織的に取り組めるようにしていく。 ② 教職員の専門性を生かすとともに、校務分掌の主任のみが活動するのではなく、組織的な取組となるよう、教職員の連携を強化していく。 ③ 毎週「金曜日課」を設定するとともに、定時退勤日を月に2回以上設定し、勤務終了時刻での退勤を徹底するなど、教職員が時間を意識できるようにする。 ④ 「学習情報システム」「ミライム掲示板」等を活用して業務の効率化を図る。 ⑤ 職員会議等の協議事項を精査して時間の短縮を図ったり、学校行事等の見直しを行ったりする。	B 【達成状況】A16 (○) <table><tr><th>A16</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>※</td><td>82.6%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・教職員の肯定的回答が82.6%で数値指標を達成している。 ・教職員が時間外勤務時間短縮を意識して職務に取り組んだ。 【次年度の方針】 ・働き方改革は喫緊の課題であることから、業務の効率化に向けて、取組を行っていく。 ・ミライムを活用するとともに、打合せや研修等で教職員の意識の高揚を図る。	A16	R4	R5	児童			教職員	※	82.6%	保護者			地域住民		
A16	R4	R5																
児童																		
教職員	※	82.6%																
保護者																		
地域住民																		
5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した『小中一貫教育・地域学校園』の取組を行っている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① <u>地域学校園研修会や各部会等を定期的に実施し、連携を図る。</u> ② 小中一貫・地域学校園の学校での取組の様子を、懇談会や学校便り、HPなどで地域や保護者に積極的に発信する。 ③ 給食における地域学校園統一の献立やおにぎりの日を実施する。 ④ 確かな学力の向上に向けて乗入授業を実施したり、家庭学習の進め方を統一したりする。 ⑤ 他校のいじめゼロに向けたポスターや標語作品の掲示など、いじめは許されない行為であることを地域学校園全体で指導する。 ⑥ 地域学校園図書だよりを発行し、児童の本についての関心を高める。	B 【達成状況】A17 (○) <table><tr><th>A17</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>児童</td><td>※</td><td>91.9%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>※</td><td>87.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>84.2%</td><td>86.9%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>※</td><td>94.7%</td></tr></table> ・保護者の肯定的回答が86.9%で数値指標を達成している。 ・今年度も、地域学校園の中学校との乗入れ授業を実行することができた。 ・昨年度に引き続き、中学校との合同の「あいさつ運動」や6年生の進学先中学校訪問をはじめ、地域学校園統一の献立やおにぎりの日を実施することができた。 【次年度の方針】 ・①～⑥を継続していく。 ・様々な機会を捉えて、中学校での活動等が伝わるようにしていく。	A17	R4	R5	児童	※	91.9%	教職員	※	87.0%	保護者	84.2%	86.9%	地域住民	※	94.7%
A17	R4	R5																
児童	※	91.9%																
教職員	※	87.0%																
保護者	84.2%	86.9%																
地域住民	※	94.7%																
5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充	① 交流行事の活動のねらいを十分検討し、心の交流につながる活動になるよう工夫を加えながら継続し	B 【達成状況】A18 (○) <table><tr><th>A18</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>児童</td><td>90.6%</td><td>94.8%</td></tr></table>	A18	R4	R5	児童	90.6%	94.8%									
A18	R4	R5																
児童	90.6%	94.8%																

5ー(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	実を図っている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒児童・保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上	ていくとともに、学びを地域に発信する機会を設けるなど、双方向性の交流を目指していく。 ② 「魅力ある学校づくり地域協議会」と連携して、図書館の環境整備、「ぶどうの会」、安全ボランティア、放課後子ども教室等の充実を図る。 ③ 外部団体と連携した授業の様子は、学校便り、HP等で積極的に分かり易く家庭・地域へ情報を発信していく。 ④ 生活科、総合的な学習の時間の他にも奉仕作業や食農体験、地域の施設を活用した行事等、 <u>地域素材や人材・施設を活用した学習を継続・実施</u> していく。 ・読み聞かせ（ぶどうの会） ・農業体験（田植え、稲刈り）（グラウンドワーク西鬼怒） ・町探検ボランティア ・ミシンボランティア ・校内水泳記録会（ドリームプールかわち）等	B	<table><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>92.5%</td><td>90.2%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>※</td><td>100.0%</td></tr></table> ・児童の肯定的回答が 94.8%、保護者の肯定的回答も 90.2%、地域住民の肯定的回答も 100.0%で、ともに数値指標を達成している。 ・読み聞かせ、田植えや稲刈りの農業体験、水泳指導、ドリームプールかわちでの校内水泳記録会、町探検ボランティア、ミシンボランティアなどでたくさんのボランティアの協力を得ることができた。 【次年度の方針】 ・①～④を、継続していく。 ・地域の教育力を生かした学習は、子供の学びの深化や生きる力を育むために有効な手段であるため、今年度の取組を継続し、実施方法を工夫しながら、家庭・地域・企業等との連携を次年度も深めていく。	教職員	100.0%	100.0%	保護者	92.5%	90.2%	地域住民	※	100.0%						
	教職員	100.0%		100.0%															
保護者	92.5%	90.2%																	
地域住民	※	100.0%																	
6ー(1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」 ⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 日常的な点検・定期的な安全点検を実施し、教職員が組織的に施設・設備についての維持管理を行うとともに、改善が必要な箇所については、迅速に対応する。 ② 機動班、学校業務嘱託員と十分連携を図りながら、施設修繕を行い安全の確保に努める。 ③ 熱中症予防対策、インフルエンザ予防対策など、時期に応じた保健指導管理を徹底する。	【達成状況】A19 (○) <table><tr><td>A19</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>89.1%</td><td>94.4%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>※</td><td>100.0%</td></tr></table> ・保護者の肯定的回答が 94.4%で数値指標を達成している。 ・毎月、安全点検で危険箇所を把握し、市教委と連携し、学校業務嘱託員や機動班が迅速に修繕した。 【次年度の方針】 ・①～③を、継続していく。 ・施設の老朽化を踏まえ市教委と連携し、危険箇所の確認、修繕を実施していく。 ・今後も、危機管理マニュアル、避難訓練等の確認、見直し、改善を続けていく。	A19	R4	R5	児童			教職員	100.0%	100.0%	保護者	89.1%	94.4%	地域住民	※	100.0%	
A19	R4	R5																	
児童																			
教職員	100.0%	100.0%																	
保護者	89.1%	94.4%																	
地域住民	※	100.0%																	
6ー(2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、授業（授業準備を含む）や業務に、デジタルを積極的に活用している」 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上	① 一人一台端末を多様な場面で積極的に活用した授業を展開し、様々な機能（調べる・絵を描く・カメラ撮影等）に慣れ親しむ機会を設定する。 ② 効果的なICT機器の活用法を考える校内研修等を実施する。 ③ ホームページを活用して、児童が活動する姿を積極的に発信する。	B	【達成状況】A20 (○) <table><tr><td>A20</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>児童</td><td></td><td></td></tr><tr><td>教職員</td><td>※</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td></td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td></td></tr></table> ・教職員の肯定的回答が 100.0%で数値指標を達成している。 ・教職員が、積極的にICT機器を取り入れた授業を実践した。 【次年度の方針】 ・継続していく。 ・これからも校内研修を活用し、さらなる充実に取り組む。 ・一人一台端末の効果的な活用場面について、教職員間の情報共有ができるようにしていく。	A20	R4	R5	児童			教職員	※	100.0%	保護者			地域住民		
A20	R4	R5																	
児童																			
教職員	※	100.0%																	
保護者																			
地域住民																			

小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B 1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケート「私は時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 古里地域学校園や児童代表委員を中心とした朝のあいさつ運動を実施し、意識化・実践化を図る。 ② 各学年・学級で、成長段階に応じてあいさつの仕方を指導し、あいさつの習慣化を図る。 ③ 教職員が様々な場面で率先してあいさつする姿を見せることで、子どもへの意識化を図る。 ④ 本校のあいさつ運動を学校便りや懇談会等で保護者や地域の方々に周知するとともに、家庭でも児童のあいさつ習慣が身に付くよう協力を促す。	【達成状況】B1 (○) <table><tr><td>B 1</td><td>R 4</td><td>R 5</td></tr><tr><td>児童</td><td>※</td><td>94.3%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>91.3%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>84.5%</td><td>84.7%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr></table> ・児童の肯定的回答が94.3%で数値指標を達成している。 ・地域学校園や代表委員を中心としたあいさつ運動を実施し、あいさつの習慣化が図れた。 【次年度の方針】 ・①～④について継続して取り組んでいく。 ・学校外でも積極的にあいさつできるよう保護者や地域の方と連携していく。 ・次年度も地域学校園や代表委員を中心としたあいさつ運動を継続し、学校全体のあいさつを活性化していく。	B 1	R 4	R 5	児童	※	94.3%	教職員	91.3%	100.0%	保護者	84.5%	84.7%	地域住民	100.0%	100.0%
	B 1	R 4	R 5															
	児童	※	94.3%															
教職員	91.3%	100.0%																
保護者	84.5%	84.7%																
地域住民	100.0%	100.0%																
B 2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、きまりやマナーを守って、生活をしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 本校の生活目標を明確化した「すてきな虹色白沢っ子」を活用し、スモールステップで、児童指導主任や代表委員児童が放送等で呼びかけたり、良かった点を朝会等で称賛したりして、身に付けられるようにする。 ② 各種便りを通して、児童の変容などを保護者や地域に周知し、児童の意識を高めたりして、家庭や地域と連携を図りながら指導していく。 ③ 生活のきまりや学習のきまり等の掲示物を作成し、児童の意識化を図るとともに、秩序があり安全な学校生活が送れるよう教職員が共通理解のもと一体となって児童の育成に当たり、指導と振り返りを繰り返し行っていく。	【達成状況】B2 (○) <table><tr><td>B 2</td><td>R 4</td><td>R 5</td></tr><tr><td>児童</td><td>※</td><td>91.3%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>91.3%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>96.5%</td><td>91.9%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>※</td><td>100.0%</td></tr></table> ・児童の肯定的回答が91.3%で数値指標を達成している。 【次年度の方針】 ・①～③を継続して取り組んでいく。 ・児童が学校生活のルールを共通理解して実践できるよう、これからも、児童指導主任が朝会時に呼びかけるなど、教職員が同一歩調で指導を行っていく。	B 2	R 4	R 5	児童	※	91.3%	教職員	91.3%	100.0%	保護者	96.5%	91.9%	地域住民	※	100.0%	
B 2	R 4	R 5																
児童	※	91.3%																
教職員	91.3%	100.0%																
保護者	96.5%	91.9%																
地域住民	※	100.0%																
B 3 児童は、学校行事や縦割り班活動等を通して、コミュニケーション能力を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、学校行事や縦割り班のゲームや清掃活動などの時に、リーダーシップを発揮し、積極的に取り組んでいる。」 ⇒児童・教職員の肯定的回答 90%以上	① 学年・発達段階に応じた交流活動のねらいと実施内容を全職員で共有し、全職員の共通理解のもと系統的に交流が図れるよう工夫していく。 ② たて割り班による共遊や各委員会活動等、班対抗のゲームや活動を取り入れて、継続的に高学年がリーダーとなる場づくりを推奨する。 ③ 積極的な情報の発信・提供に努める。	【達成状況】B3 (○) <table><tr><td>B 3</td><td>R 4</td><td>R 5</td></tr><tr><td>児童</td><td>91.0%</td><td>92.6%</td></tr><tr><td>教職員</td><td>95.7%</td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td>95.7%</td><td>92.7%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>100.0%</td><td>100.0%</td></tr></table> ・児童の肯定的回答が92.6%、教職員の肯定的回答も100.0%で、ともに数値指標を達成している。 ・縦割り班活動を生かし、高学年がリーダーシップをとるとともに、全員で協力する機会が増えた。 【次年度の方針】 ・引き続き継続して取り組む。 ・高学年がリーダーシップを発揮することができるよう、心構えなどを繰り返し事前指導した上で、児童に任せる場面をつくっていく。 ・他学年とのふさわしい関わり方について、支援していく。 ・今後も、学年だより等で保護者に伝える機会をつくっていく。	B 3	R 4	R 5	児童	91.0%	92.6%	教職員	95.7%	100.0%	保護者	95.7%	92.7%	地域住民	100.0%	100.0%	
B 3	R 4	R 5																
児童	91.0%	92.6%																
教職員	95.7%	100.0%																
保護者	95.7%	92.7%																
地域住民	100.0%	100.0%																

	B 4 児童は、郷土への愛情と誇りを持っている。 【数値指標】 全体アンケート「私は、白沢の良いところや自慢できることを知っている。」 ⇒児童・保護者・地域住民の肯定的回答 90%以上	① 地域の教育的資源（人材・施設・組織）を活用した体験的な教育活動を推進する。 ・【総合的な学習の時間】米づくり体験・自然体験・白沢で働く人にズームイン【生活】町探検・河内総合運動公園での秋探し【社会】スーパーマーケットのひみつ【家庭】食農体験（米）【体育】ドリームプールかわちでの水泳記録会 等 ② 体験的な学習等の活動時において、事前、事後の活動の振り返りを行い、児童が地域のよさに気付くよう指導する。 ③ P T Aや地域協議会との連携を十分に図り、学校・家庭・地域が協同して教育環境の整備に努める。 ④ 教師自身が宇都宮学に関するテキストや河内地区ガイドマップ「かわち」等を活用し、地域の歴史、文化、自然、農業、工業、伝統行事等について理解を深める。	【達成状況】B4（△） <table><tr><th>B 4</th><th>R 4</th><th>R 5</th></tr><tr><td>児童</td><td></td><td>86.9%</td></tr><tr><td>教職員</td><td></td><td>100.0%</td></tr><tr><td>保護者</td><td></td><td>88.4%</td></tr><tr><td>地域住民</td><td></td><td>94.7%</td></tr></table> ・地域住民の肯定的回答が94.7%であるが、児童の肯定的回答が86.9%、保護者の肯定的回答が88.4%で、数値指標を達成していない。 【次年度の方針】 ・①～④を継続していく。 ・道徳の郷土愛の授業を充実させる。 ・授業で白沢のよさについて伝えていく。 ・お昼の放送で白沢のよさを広める。 ・創立記念日などに集会を行う。 ・地域や家庭でも、地域のよさを伝えることができるようにする。	B 4	R 4	R 5	児童		86.9%	教職員		100.0%	保護者		88.4%	地域住民		94.7%
B 4	R 4	R 5																
児童		86.9%																
教職員		100.0%																
保護者		88.4%																
地域住民		94.7%																

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

本校では、教育目標の具現化に向けて、今年度も重点目標、具体的な取組を設定し、特色ある教育活動に取り組んできた。

児童は、縦割り班活動等を通してコミュニケーション能力を身に付け、思いやりの心をもち、きまりやマナーを守り生活をしていることが、以下の項目から読み取れる。

- ◇「思いやりの心をもっている」の児童の肯定的回答 92.6%。地域住民 100%。保護者 94.5%。
- ◇「きまりやマナーを守って、生活をしている」の児童の肯定的回答 91.3%。地域住民 100%。保護者 91.9%。
- ◇「学校行事や縦割り班活動等を通して、コミュニケーション能力を身に付けている」の児童の肯定的回答 92.6%。地域住民 100%。保護者 92.7%。

「健康や安全に気を付けて生活している」「いじめが許されない行為であることを指導している」「不登校を生まない学級経営を行っている」「一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である」「分かる授業や児童生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている」の児童の肯定的回答は、95%以上であった。

「分かる授業や児童生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている」の児童の肯定的回答は97.4%と、数値指標は達成したが、保護者は8.2%低下した。なお、10%以上低下した項目はゼロである。

学校マネジメントの全体アンケートを振り返ると、数値指標30項目のうち26項目（86.7%）で、学校の数値指標を上回ることができた。

【学校運営に関連する評価について】

全教職員が一丸となって、児童も教師もいきいきと活動する学校のため、「児童が目標をもって、主体的に取り組むことのできる活動」を意図的に設定した。

郷土への愛情や誇りを持たせるとともに、学習活動の充実と学習内容の定着を目指して、地域の教育資源（人材・施設・組織）や行政・企業を活用した体験的な学習活動を充実させた。

また、教職員一人一人が主体となって、創意工夫した各種教育活動を展開するとともに、効果を維持した上で、校務の効率化を推進した。

その結果、「家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」、「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」の数値指標で、昨年度を上回った。

今後も、児童一人一人を大切に、学級経営、道徳教育、教育相談を活用したいじめ防止等についても継続して取り組んでいく。学校行事や各学年の活動の様子を、学年便り、学校便り、ホームページ等で紹介し、保護者や地域の方の理解を深めるため、情報発信に努めていく。

【学習指導に関連する評価について】

一人一人が主体的に取り組む、いきいきと学び合う児童の育成～基礎・基本の定着を図り、表現力を高める言語活動の工夫～の実現に向けて、学びあいの活動を取り入れるなど、授業の展開を工夫するとともに、GIGAスクール構想の実現のため、全教職員共通理解のもと、1人1台端末を生かした教育活動の日常化に取り組んだ。

一人一人の習熟の程度に応じた学習に取り組む等、個に応じたICT機器の活用に取り組んだ。その結果、「児童は、デジタル機器や図書等を学習に活用している」「コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業を行うための準備ができていく」の項目で数値指標を上回った。

今後も、学力の基礎・基本の確実な定着のため、授業の工夫、振り返り等、分かる授業の実践はもとより、主体的・対話的で深い学びの実現を目指して児童を指導していく。

【児童生徒指導に関連する評価について】

一人一人が自信をもち、共に支え合いながら、生き生きと活動する児童の育成のため、地域や保護者の方々からのあたたかいメッセージを紹介する「ありがとうのふわふわ雲」を実施したり、地域学校園や代表委員を中心としたあいさつ運動を実施したり、1年生となかよく遊ぼう集会などの異学年の交流活動等を計画的に設定したりし、児童の思いやりの心を育てた。

その結果、昨年度同様、「時と場に応じたあいさつ」「思いやりの心をもっている」「いじめは許されない」「不登校を

生まない学級経営」の項目で数値指標を上回ることができた。

今後も、全職員が共通の指導を行い、「いじめ」を許さないという基本姿勢を崩さず児童の成長を支援していく。

【健康（体力・保健・食・安全）に関連する評価について】

生涯を通して健康（体力、保健、食、安全）に親しもうとする態度を育成し、体力や健康に関する知識や技能を身に付け、自他の生命を尊重し安全な生活を営む児童の育成のため、体験活動を大切にしたい教育を推進した。特に、委員会活動と連携し、児童主体の活動として実施した。

その結果、「健康や安全に気を付けて生活している」「利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」の項目で、数値指標を上回ることができた。

今後も、児童の健康（体力、保健、食、安全）を第一に、学習環境を整備し教育活動を進めていく。

7 学校関係者評価

【学校運営に関連する評価について】

- ・児童は元気がよく、みんなで一つのことに取組み、日々の成長を感じる。
- ・学年の関係だけでなく、上級生・下級生の縦の関係がよく、上級生が下級生の面倒をよく見ている。
- ・白沢小の児童は、郷土白沢に愛情をもっている。
- ・児童や先生方の評価が肯定的で素晴らしい。これからも継続して欲しい。

【学習指導に関連する評価について】

- ・「分かる授業や児童生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている」の児童の肯定的回答は97.4%であったが、保護者の肯定的回答は8.2%低下した。これは、保護者は学校にもっと期待していることの表れである。
- ・学力向上のため、これからもきめ細かな指導をお願いしたい。
- ・保護者への学習指導に関する情報発信はなかなか難しいが、授業の様子や学力向上の取組の様子を、工夫しながら発信して欲しい。

【児童生徒指導に関連する評価について】

- ・児童は男女関係なく、元気に仲良く活動している。きちんと生活しているので、この状況を続けて欲しい。
- ・児童は素直で、挨拶をしっかりしている。むしろ、大人自身が児童の手本として、大人の方が挨拶をしっかりしないといけな。バス停で待っていると児童がよく挨拶してくれる。都会ではあまり見られない白沢の良さである。
- ・縦割り班活動は、これからも続けて欲しい。このような活動の成果として、思いやりの心が育っている。

【健康（体力・保健・食・安全）に関連する評価について】

- ・お弁当の日の実施は、いい取り組みである。栄養バランスが整っている。
- ・児童が、交通事故の被害にあうこともなく良かった。周りの環境も変わってきている。
- ・児童のお迎えが多くなり、歩いて帰る児童が少なくなっている。今後の課題である。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

学校運営の状況、教育活動の状況、学習指導、児童指導、健康・体力、本校の特色・課題などの多くの事項については、概ね数値指標を達成することができた。

白沢小学校の創立150年の歴史や伝統、豊かな自然や文化を重んじ、今後とも、「広い視野を持ち、心身共に健康で、創造性と実践力に富む、心豊かな児童」の育成のため、全教職員がその力を結集し、児童・保護者・地域住民等と協和し、地域の教育資源を活用しながら、創意と工夫・活力に満ちた教育活動を展開する。

児童の安全・安心を第一に、「時と場に応じたあいさつ」「きまりやマナーを守った生活」の習慣化のため、あいさつ強化週間や中学校との合同あいさつ運動等をさらに活性化し、より多くの児童が積極的に運動に参加できるよう、地域ぐるみのあいさつ運動を積極的に展開する。

さらに、児童が郷土への愛情と誇りをもてるようにするため、旧河内町の豊富な地域の教育的資源（人材・施設・組織）を活用した体験的な教育活動を推進する。

次年度も、本校の学校運営の状況、教育活動の状況、学習指導、児童指導、健康・体力、本校の特色などについて積極的に公表しながら、今年度の取組を継続・発展させ、学校と家庭、地域が協力・連携を図り、地域ぐるみで学習環境を整えていく。

「小中一貫教育・地域学校園の取組」については、古里地域学校園の、これまでの実践を継続していくとともに、お知らせ、各種たより、ホームページ等を工夫するなどして、家庭や地域の方々への周知・情報発信を図っていく。

特に、地域とともにある学校を目指して、積極的な情報の発信・提供に努め、地域に開かれた学校の実現に取組、地域に根差し、地域から信頼される学校づくりを推進していく。

これからも、地域や家庭からの建設的な声を学校運営に反映し、改善を図りながら、教育活動全体の質の向上に努めていく。